

熊本県立荒尾支援学校進路便り 11月号（通巻NO.29）

わーく&らifu

平成30年11月1日 進路指導部 発行

■CONTENTS■

★シリーズ 職員進路研修その1 A班

◆職員進路研修～卒業後の姿・社会のE/サシに触れる実践～

本校では、教育計画（カリキュラム）改善のひとつとして、全職員が卒業生の受け入れ先からのご意見やそこで働く（活動する）卒業生の姿に触れる実践に取り組んでいます。卒業後に必要となる力を知り、学校生活のどんな場面でのどのように指導していくのか考え、日々の教育活動改善に生かすねらいがあります。今年度も5グループで2カ所ずつ、計10カ所に分かれて訪問し、たくさんの情報を得て参りました。今回はAグループの研修の様子について報告します。

事業所・施設名	住所	類型
LIXIL 有明工場	玉名郡長洲町名石浜25	一般就労
自立支援センター ひまわりの里	玉名郡長洲町清源寺3246	就労移行支援事業 就労継続支援B型事業 生活介護

【LIXIL 有明工場】

CMでも有名な会社です。本校卒業生が3名働いています。当日は会社説明、工場見学、卒業生インタビュー等、充実した研修になりました。

【ひまわりの里】

放課後等デイサービスや現場実習で多くの児童生徒がお世話になっている事業所です。卒業生が、らっかさん、ネジの組立等の作業に一生懸命がんばっていました。



会社説明の様子です。工場内は撮影禁止でしたが、とても丁寧に案内していただきました。



いきなり団子やスイートポテト等も作っていて、とてもいい匂いがしていました。

■事業所で重視する力アンケート

今回研修でお世話になった事業所に対し事前に、働くために必要だと思う力や卒業生の様子についてアンケート(本校高等部で活用している「働く準備評価シート」)を実施しました。生活面・就労面・コミュニケーション面・精神面の計45項目について重要度を5段階で答え、卒業生の評価できる点や学校時代に育てておくべき力について記入していただきました。今回は、卒業生の評価できる点や学校時代に育てておくべき力について紹介します。

	評価できる点	改善が必要な点
L I X I L	・会社のルールを守る(遅刻・欠勤がない) ・1日に6時間以上作業を継続できる ・気力・体力がある ・仕事上の不具合やアクシデントを報告してくれる	・自分からあいさつをする ・自分から報告・質問できる力 ・自分の意思や気持ちを伝える力 ・耐ストレス性(身体的・精神的)
ひ ま わ り の 里	・無視・反発・拒否せず指示や注意を冷静に受け入れる ・正確な作業ができる ・慣れると作業スピードが上がる ・情緒が安定している	・自分の意思や気持ちを伝えることができる ・人の気持ちが理解できる ・人と協力して作業できる ・特定の物や人、やり方にこだわらない

どちらの事業所も改善が必要な点として、コミュニケーション面の項目から多く挙げられているのが印象的でした。

◆研修を終えて

研修を終えてのアンケートでは、「今回の研修での学びを生徒の就労に関する情報として、保護者への情報提供、進路指導等で生かせる」「将来の子どもたちの姿を具体的にイメージできた。必要な力、今するべきことについて考えるきっかけになった」等、今後の支援に活かしていきたいという多くの意見を頂きました。「研修は意義のあるものでしたか?」という問いや「研修の内容は今後に活かそうですか?」という問いに対して、11人すべての職員が「とてもそう思う」「そう思う」と回答する等、有意義な研修となりました。進路指導部として、今回の学びがよりよい授業づくりや進路指導につながれば嬉しいです。(A班担当 原口)